

第3次宍粟市総合戦略の概要

策定の趣旨

- ・「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき定める
- ・国や県の総合戦略を勘案して作成
- ・人口減少抑制と地域経済活性化が目的

計画期間

第1次総合戦略（2015年度～2021年度）

↓

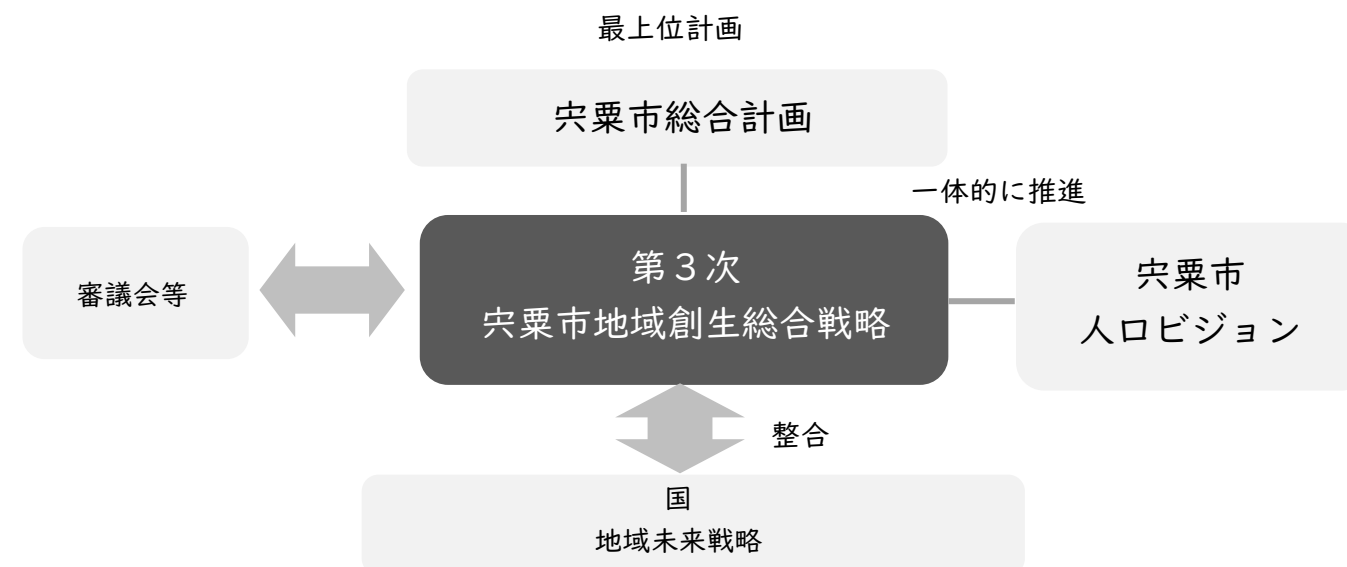
第2次総合戦略（2022年度～2026年度）

↓

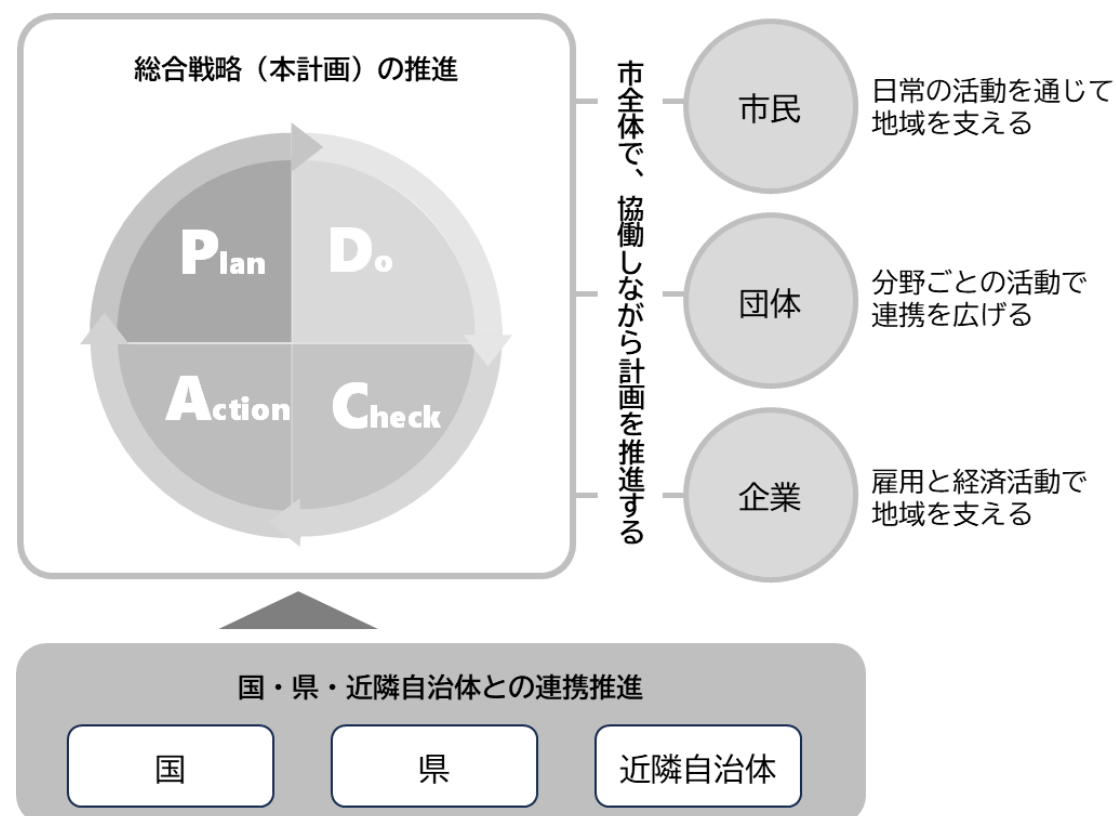
第3次総合戦略（2027年度～2031年度の5年間）

計画の位置付け

「宍粟市人口ビジョン」で設定する目標人口の中期目標「2040年時点 25,200人」、長期目標「2060年時点 21,000人」の実現に向けて、「第3次宍粟市総合計画」と一体的に施策を推進する。

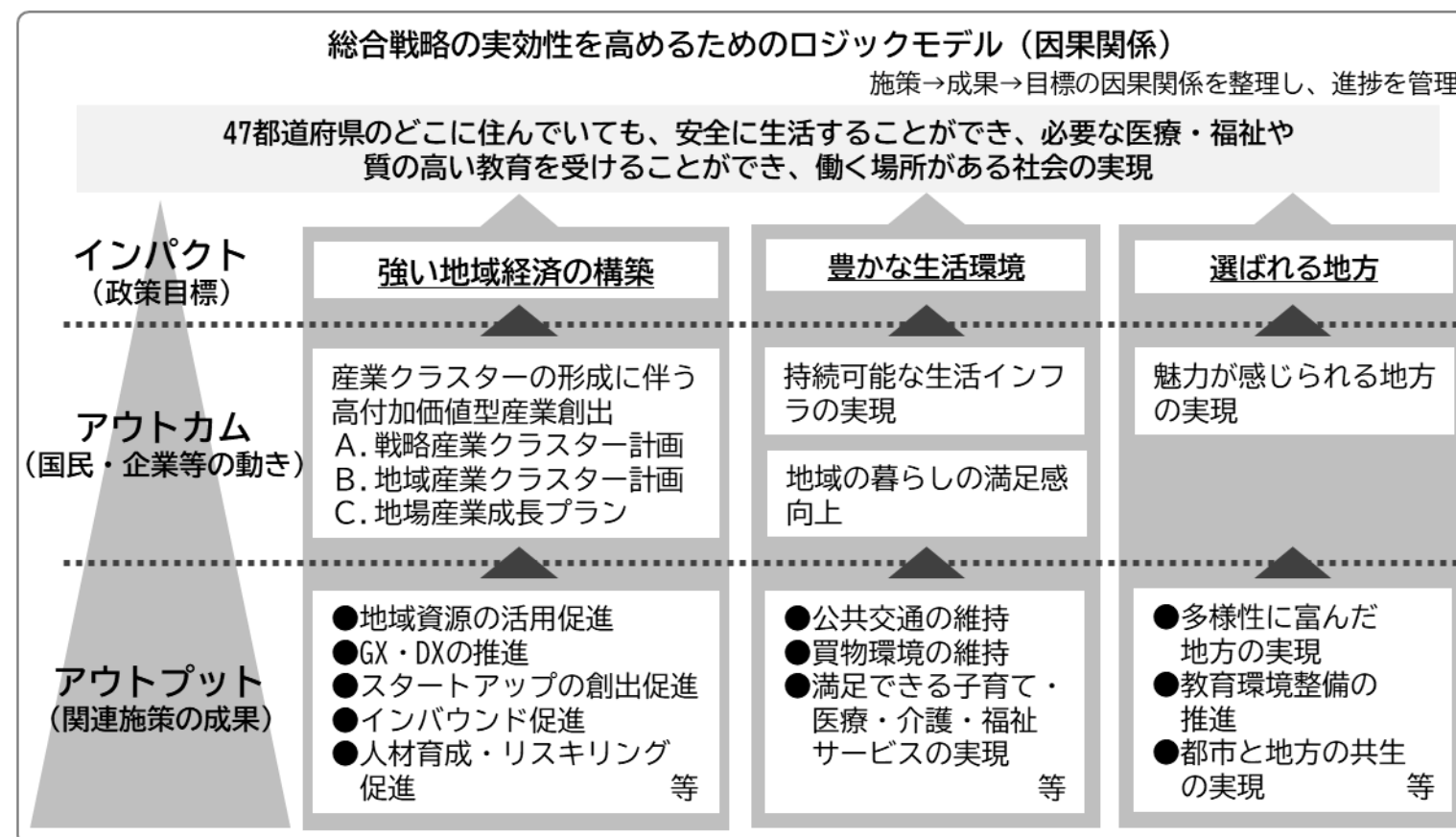


計画の策定・推進体制



－ 地域未来戦略 －

計画期間：2026年度～2030年度



大津市の現状

人口の現状（2025 以降は予測値）				
①総人口の推移 49,084 人(1980) ↓ 34,819 人(2020) ↓ 18,235 人(2050) 40 年間で約 14,000 人減少	②人口増減率（年齢 3 区分） 年少 -21.47%（2030） 生産年齢 -12%～-13%（2030 以降） 老年も 2030 年以降マイナスに転じる 2030 年以降、全ての年代で人口が減少	③人口ピラミッド 2020 年 つぼ形 ↓ 2050 年 逆三角形 男女 15 歳～34 歳の割合は 14.39%→9.52% 男性の 90 歳以上の割合は 0.74%→2.43% 女性の 90 歳以上の割合は 2.12%→5.87%	④自然・社会動態 自然増減数（出生数－死亡数）は 1994 年以來マ イナスで推移 社会増減数（転入数－転出数）も 1994 年以來マ イナスが続く 出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向 転入数と転出数は減少傾向（市の人口が縮小）	
⑤未婚率と有配偶出生率 女性未婚率 36.35% ＜全国 39.52%＞（結婚は多い） 有配偶出生率 62.76‰ ＜全国 70.35‰＞（子は持ちにくい）	⑥年齢階級別純移動数 10-14 歳→15-19 歳は進学が原因と思われる転出 15-19 歳→20-24 歳で転出が集中 30-34 歳→35-39 歳でも 2000 年以降転出増 若い世代の転出が目立つ	⑦20 歳台の主な転出先(2020～2025) 男性 姫路市 94 人 大阪市 44 人 神戸市 45 人 女性 姫路市 115 人 大阪市 72 人 神戸市 71 人 近隣の大都市圏への転出が目立つ		

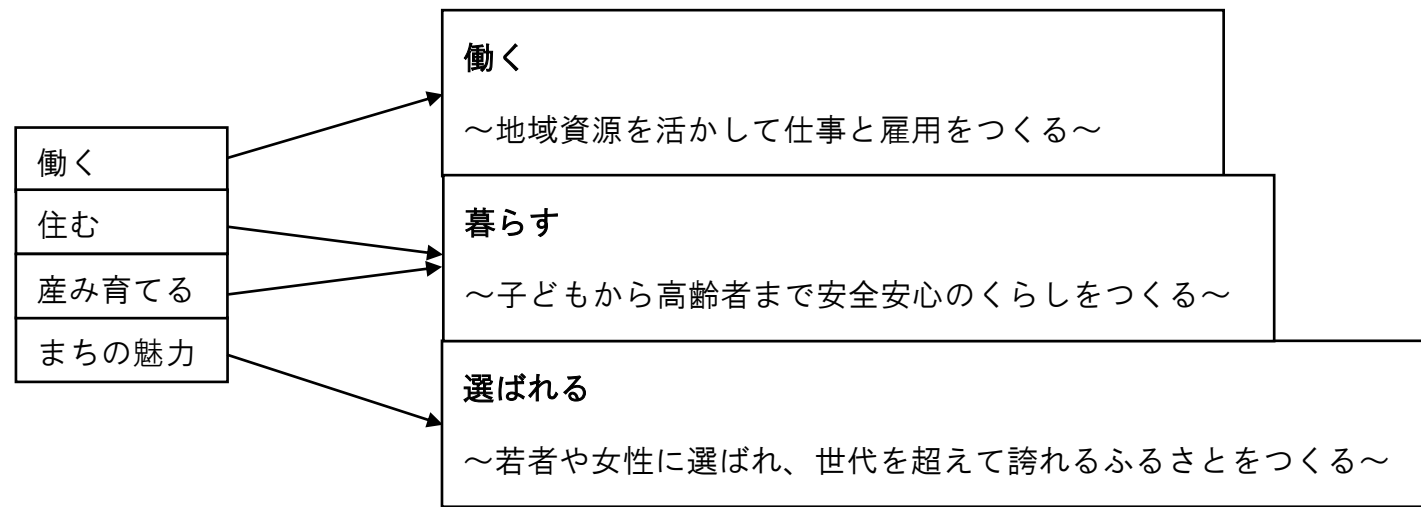
経済の現状				
①従業者数の推移(分類不能含) 20,785 人(1990) ＜第一次 1,470 人、第二次 10,261 人、第三次 9,043 人＞ 15,959 人(2020) ＜第一次 766 人、第二次 5,721 人、第三次 9,142 人＞ 第一次産業と第二次産業の従業者は半減 第三次産業は横ばい	②非正規雇用率 33.9%(2010)→36.8%(2020) 内 男性 17.5%→18.7%(+1.2pt) 女性 51.2%→54.3%(+3.1pt) 雇用環境の悪化	③市内総生産 1,176 億円(2011) 1,265 億円(2013) 1,103 億円(2020) 1,174 億円(2023) コロナ前水準にほぼ回復	④1 人当たり市民所得 2,216 千円(2011) ＜県 2,703 千円、西播磨 2,379 千円＞ 2,720 千円(2023) ＜県 3,277 千円、西播磨 2,785 千円＞ 県、西播磨地域と比較して低水準	⑤産業別特化係数(県比較) 第一次 3.20 第二次 0.88 第三次 1.04 産業別 林業係数 33.5 林業の生産額が多い

まとめ
人口減少と働き手の減少が続き、暮らしと仕事の両面で厳しさが増す。
地域資源を活かした産業と雇用の創出＋誰もが安全安心に暮らせる生活環境を一体的に整備することが不可欠

計画の体系

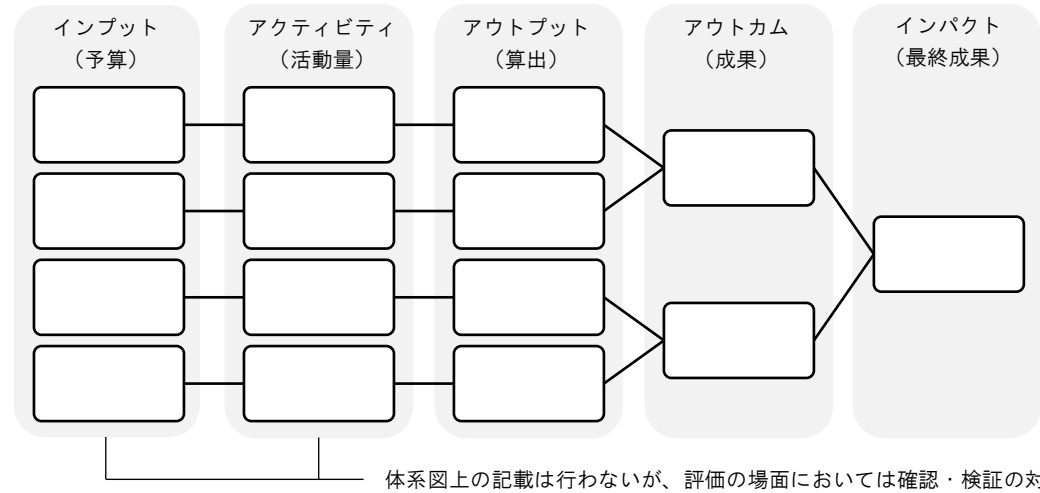
目標の再編

これまでの4つの重点戦略から3つの重点目標へ再編

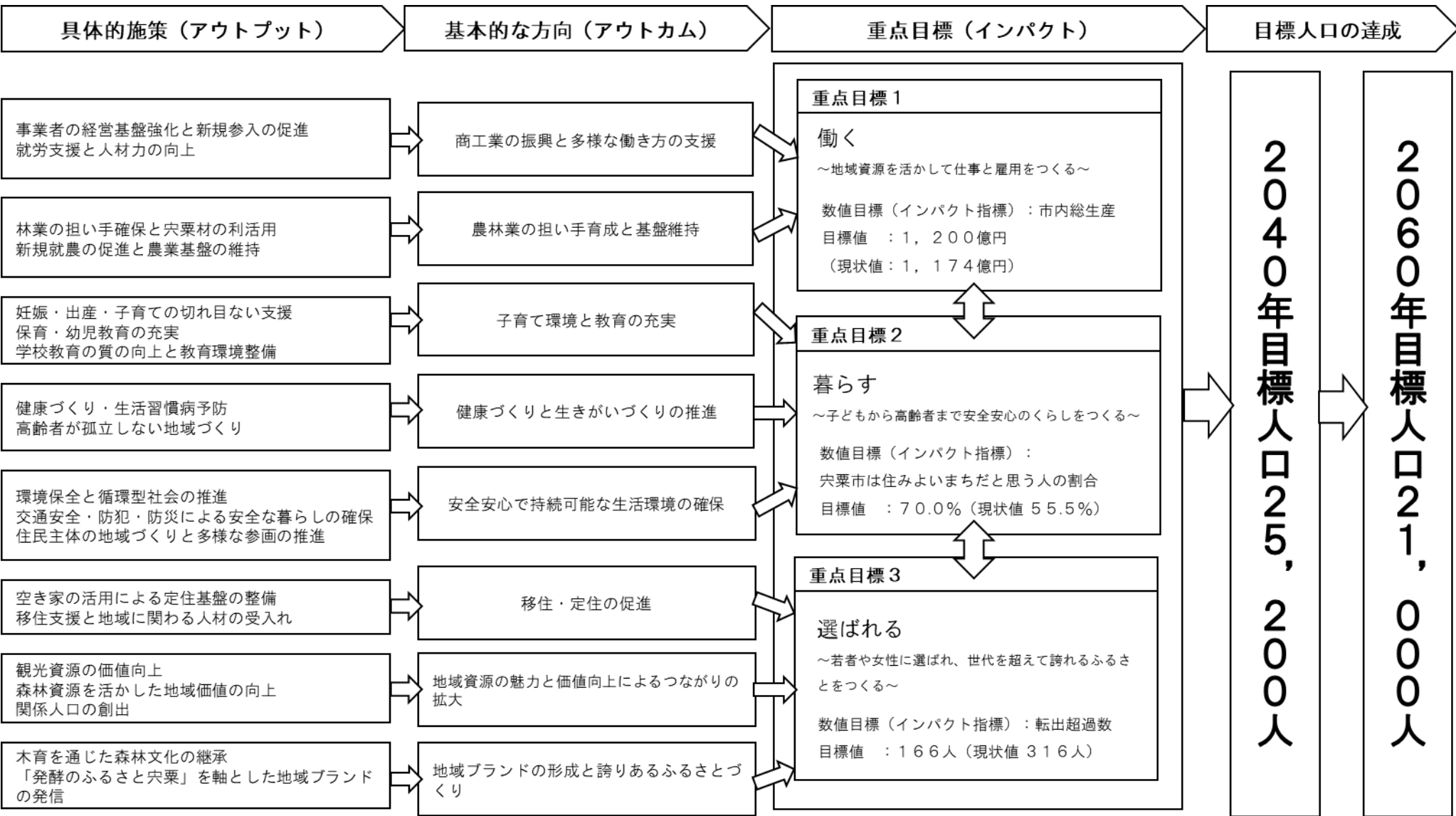


ロジックモデルの採用

目標達成までの因果関係を把握するために、ロジックモデルを採用
→活動量重視から成果重視への転換



施策体系図



重点目標 1 働く～地域資源を活かして仕事と雇用をつくる～

重点目標 1

働く
～地域資源を活かして仕事と雇用をつくる～

市内総生産
(現状値：1,174億円 目標値：1,200億円)

外部要因に左右される面もあるが、2023年度の市内総生産を基準に、内閣府の「中長期の経済財政に関する試算」の実質GDP成長率（過去投影ケース）に準じた率を乗じた額とする。（年0.5%程度の成長）

具体的施策(1)事業者の経営基盤強化と新規参入の促進

奨学金返済負担軽減制度の年間利用者数 (現状値：10人 目標値：16人)	市内の工場等の年間認定数 (現状値：1件 目標値：現状値を維持)	起業家に対する年間助成数 (現状値：6件 目標値：現状値を維持)
産業振興資金融資の年間件数 (現状値：31件 目標値：現状値を維持)	産業振興資金利子補給の年間申請者数 (現状値：147件 目標値：現状値を維持)	セーフティネット保証制度 (業績悪化企業が対象のため目標値設定無)

■主な事業
・中小企業奨学金返済支援事業・産業立地促進事業・イノベーション拠点開設支援事業・起業家支援事業（まちなか創業支援事業）
・産業振興資金融資制度・産業振興資金利子補給制度・セーフティネット保証事業

具体的施策(2)就労支援と人材力の向上

JUMP UP SHISOの参加者数 (現状値：146人 目標値：170人)	従業員の資格取得に対する企業への支援 (現状値：0人 目標値：5人)	「穴栗わくわくステーション」を通じた年間就業者数 (現状値：201人 目標値：260人)
---	---------------------------------------	---

■主な事業
・人財力フル活用プラットフォーム推進会議事業・職業能力開発促進補助事業
・総合的な仕事の相談窓口「穴栗わくわくステーション」運営事業・わくわく企業図鑑の充実（ウェブ版）

具体的施策(1)林業の担い手確保と穴栗材の利活用

林業事業体の新規雇用者数【累計】 (現状値：1人 目標値：5人)	穴栗材利用拡大支援事業の補助件数【累計】 (現状値：1件 目標値：5件)	森林大学の学生数 (現状値：13人 目標値：30人)
-------------------------------------	---	-------------------------------

■主な事業
・新規事業体育成支援事業・林業担い手育成対策事業・森林整備ベース地（仮称）整備事業・穴栗材利用拡大支援事業
・兵庫県立森林大学校学生サポート事業

具体的施策(2)新規就農の促進と農業基盤の維持

認定新規就農者数【累計】 (現状値：21人 目標値：34人)	特定地域づくり事業協同組合のワーカー数 (現状値：- 目標値：6人)	基幹水利施設ストックマネジメント事業実施箇所数 (現状値：- 目標値：1か所)
多面的機能を維持するために活動する組織数 (現状値：66組織 目標値：72組織)	単独土地改良事業の年間実施件数 (現状値：17件 目標値：10件以上)	農業機械等導入の補助件数【累計】 (現状値：21件 目標値：39件)
農地再生応援事業の年間補助件数 (現状値：1件 目標値：現状値を維持)	シカ罾捕獲頭数（年間） (現状値：249頭 目標値：600頭)	

■主な事業
・新規就農促進補助事業・農業人材育成地域連携事業【新規】・農業機械等導入補助事業（スマート農業機械等の導入支援）
・多面的機能支払交付金事業・単独土地改良事業・基幹水利施設ストックマネジメント事業・農地再生応援事業・有害鳥獣捕獲事業

基本的な方向 1
商工業の振興と多様な働き方の支援

1人当たり市民所得
(現状値：県平均比83.0% 目標値：86.5%)

兵庫県平均との差を2割縮小する。

市内従業者数
(現状値：14,863人 目標値：現状値を維持)

少子高齢化に伴う労働人口減少の中で増加を見込むことは難しいが、各施策の取組により、現状値の維持を目標とする。

基本的な方向 2
農林業の担い手育成と基盤維持

人工林整備率
(現状値：44.57% 目標値：55.00%)

森林の多面的機能の発揮等を推進するため、毎年2%以上の間伐整備を設定する。

農地利用面積年間減少率
(現状値：0.91% 目標値：現状値を維持)

毎年の減少率を1.0%以下に抑える目標を設定する。

重点目標2 暮らす～子どもから高齢者まで安全安心の暮らしをつくる～

具体的施策(1)妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

結婚新生活支援事業補助金の申請世帯数
(現状値：14世帯 目標値：現状値を維持)

妊婦健康診査未受診者数
(現状値：0人 目標値：0人)

病児・病後児保育年間利用児童人数【延べ】
(現状値：220人 目標値：450人)

ファミリーサポートセンター援助活動人数【延べ】
(現状値：829人 目標値：現状値を維持)

子育て支援センター月間利用組数【延べ】
(現状値：454組 目標値：現状値を維持)

■主な事業

・結婚新生活支援事業・妊婦健康診査費等助成事業・病児病後児保育事業・ファミリーサポートセンター事業

・地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター事業）

具体的施策(2)保育・幼児教育の充実

放課後児童支援員認定資格研修受講率
(現状値：58% 目標値：80%)

こども誰でも通園制度利用率
(現状値：－ 目標値：10%)

各校区でのカリキュラム策定割合
(現状値：－ 目標値：100%)

学年別研修会 受講率
(現状値：71.4% 目標値：80.0%)

■主な事業

・あずかり・学童保育事業 ・乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）【新規】

・しそ幼小架け橋プログラム推進事業・保育士の資質向上研修事業

具体的施策(3)学校教育の質の向上と教育環境整備

国語及び算数（数学）の授業の内容が分かるという児童生徒の割合
(現状値：83.2% 目標値：85%以上)

将来、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいという児童生徒の割合
(現状値：87.4% 目標値：88%)

地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあるか（習い事は除く）という児童生徒の割合
(現状値：41.2% 目標値：50%以上)

通信ネットワーク環境整備済みの学校施設室数の割合
(現状値：75.3% 目標値：100%)

学校給食の地産地消率
(現状値：70.5% 目標値：77.5%)

■主な事業

・しそ学校生き活きプロジェクト事業（学力向上）・しそ学校生き活きプロジェクト事業（体験学習）・しーたんチャレンジ事業

・小中ICT環境整備事業・学校給食地産地消事業

具体的施策(1)健康づくり・生活習慣病予防

特定健診受診率
(現状値：40.9% 目標値：60.0%以上)

特定保健指導実施率
(現状値：66.2% 目標値：現状値を維持)

スポーツ施設年間利用者数
(現状値：118,008人 目標値：157,000人以上)

ラジオ体操推進団体・事業所数【累計】
(現状値：16団体 目標値：45団体)

■主な事業

・特定健診・特定保健指導・スポーツ活動の推進・生涯スポーツ活動の推進・健康づくりの推進

具体的施策(2)高齢者が孤立しない地域づくり

認知症サポーター養成講座年間受講者数
(現状値：264人 目標値：270人)

「いきいき百歳体操」に取り組む人の割合
(現状値：13.9% 目標値：15.0%)

高齢者大学学生数
(現状値：437人 目標値：現状値を維持)

■主な事業

・認知症サポーター養成講座・高齢者通いの場づくり応援事業・高齢者向け生涯学習事業

具体的施策(1)環境保全と循環型社会の推進

生ごみ処理機の購入補助件数
(現状値：40件 目標値：現状値を維持)

リサイクル率
(現状値：24.7% 目標値：27.0%)

クリーン作戦の参加者数
(現状値：9,357人 目標値：現状値を維持)

■主な事業

・生ごみ減量化の促進・リサイクル（資源循環）の推進・環境保全の啓発

具体的施策(2)交通安全・防犯・防災による安全な暮らしの確保

交通安全教室開催回数
(現状値：91回 目標値：100回)

防犯灯設置補助件数
(現状値：33基 目標値：現状値を維持)

防災出前講座開催回数
(現状値：10回 目標値：現状値を維持)

■主な事業

・交通安全教室・防犯灯設置補助事業・防災出前講座

具体的施策(3)住民主体の地域づくりと多様な参画の推進

路線バス利用者数【延べ】
(現状値：226,915人 目標値：254,700人)

消費者市民生活に関する出前講座の年間開催件数
(現状値：52件 目標値：70件)

女性活躍推進企業（ミモザ企業）数【累計】
(現状値：2団体 目標値：6団体)

女性セミナー受講人数(連続受講)
(現状値：平均8人 目標値：平均20人)

地区コミュニティ支援員派遣先団体数
(現状値：3団体 目標値：7団体以上)

女性が役員に就任している自治会数
(現状値：7自治会 目標値：19自治会)

しそ手続きナビでオンライン申請できる件数
(現状値：35件 目標値：現状値より増加)

■主な事業

・地域生活交通対策事業・交通系ICカードによるキャッシュレス決済の推進【新規】・消費者行政の推進・男女共同参画推進事業・女性リーダー育成セミナー・地域運営組織（RMO）の形成支援・地区コミュニティ支援員派遣・自治会女性役員参画推進事業・自治体DX環境整備事業

基本的な方向1 子育て環境と教育の充実
子育て支援への取組の満足度 (現状値：19.9% 目標値：25.0%) 穴粟市が計画策定にあたり実施したアンケート調査より、「普通」の層の一部を「満足」「やや満足」へと引き上げることで、5ポイント程度の上昇をめざす。
学校教育への取組の満足度 (現状値：17.8% 目標値：23.0%) 穴粟市が計画策定にあたり実施したアンケート調査より、「普通」の層の一部を「満足」「やや満足」へと引き上げることで、5ポイント程度の上昇をめざす。
基本的な方向2 健康づくりと生きがいの推進
健康づくりへの取組の満足度 (現状値：19.2% 目標値：25.0%) 穴粟市が計画策定にあたり実施したアンケート調査より、「普通」の層の一部を「満足」「やや満足」へと引き上げることで、5ポイント程度の上昇をめざす。
スポーツ活動への取組の満足度 (現状値：12.1% 目標値：17.0%) 穴粟市が計画策定にあたり実施したアンケート調査より、「普通」の層の一部を「満足」「やや満足」へと引き上げることで、5ポイント程度の上昇をめざす。
基本的な方向3 安全安心で持続可能な生活環境の確保
資源循環型社会に向けた取組の満足度 (現状値：10.7% 目標値：16.0%) 穴粟市が計画策定にあたり実施したアンケート調査より、「普通」の層の一部を「満足」「やや満足」へと引き上げることで、5ポイント程度の上昇をめざす。
防犯・交通安全の取組の満足度 (現状値：17.6% 目標値：23.0%) 穴粟市が計画策定にあたり実施したアンケート調査より、「普通」の層の一部を「満足」「やや満足」へと引き上げることで、5ポイント程度の上昇をめざす。
参画と協働・男女共同参画の取組の満足度 (現状値：7.6% 目標値：13.0%) 穴粟市が計画策定にあたり実施したアンケート調査より、「普通」の層の一部を「満足」「やや満足」へと引き上げることで、5ポイント程度の上昇をめざす。

重点目標2
暮らす ～子どもから高齢者まで安全安心の暮らしをつくる～
穴粟市は住みよいまちだと思ふ人の割合 (現状値：55.5% 目標値：70.0%) 7割の人に住みよいまちだと思ってもらえるように目標値を設定する。 ※2019年調査「59.6%」2014年調査「65.6%」 （どちらともいえないと回答した人の増加が原因。 住みにくいと回答した人の割合は横ばい）

重点目標3 選ばれる～若者や女性に選ばれ、世代を超えて誇れるふるさとをつくる～

具体的施策(1)空き家の活用による定住基盤の整備

空き家バンクの年間登録物件数
(現状値：60件 目標値：現状値を維持)

空き家バンク物件の年間成約件数
(現状値：18件 目標値：現状値を維持)

■主な事業
・空き家・空き地バンク事業
・空き家の活用推進・定住促進員設置事業

具体的施策(2)移住支援と地域に関わる人材の受け入れ

移住相談会への参加回数
(現状値：2回 目標値：現状値を維持)

地域おこし協力隊員人数【延べ】
(現状値：21人 目標値：27人)

■主な事業
・東京圏在住者移住支援事業・移住相談会・地域おこし協力隊制度

具体的施策(1)観光資源の価値向上

国見の森公園プログラム参加者数
(現状値：42.5千人 目標値：43.1千人)

道の駅利用者数【延べ】
(現状値：315千人 目標値：330千人)

宍粟市文化財保存活用地域計画協議会による効果検証
(現状値：年1回 目標値：現状値を維持)

音水湖カヌー競技場施設利用者数【延べ】
(現状値：8,848人 目標値：11,000人)

■主な事業
・観光イベント補助事業・しそ森林王国観光協会支援事業・道の駅管理運営事業・文化財保存活用事業
・音水湖（引原ダム）エリアの利活用推進事業

具体的施策(2)森林資源を活かした地域価値の向上

広葉樹転換面積【累計】
(現状値：0.45ha 目標値：1ha)

再生可能エネルギー自給率
(現状値：92.5% 目標値：100%)

森林吸収系J-クレジット累計認証量
(現状値：902t-CO2 目標値：19,000t-CO2)

森林セラピー体験者数【延べ】
(現状値：695人 目標値：1,000人)

■主な事業
・彩りの森づくり事業・再生可能エネルギー利用促進補助事業・森林環境ポイント制度
・森林吸収系J-クレジット創出事業・森林セラピー推進事業

具体的施策(3)関係人口の創出

返礼品登録事業者数【累計】
(現状値：48事業者 目標値：67事業者)

ガバメントクラウドファンディング型ふるさと宍粟寄付金交付件数
(現状値：0件 目標値：5件)

ふるさと住民登録制度
(現状値：－ 目標値：2029年度開始事業のため目標値未設定)

保育園留学利用世帯数【累計】
(現状値：－ 目標値：63世帯)

■主な事業
・ふるさと納税推進事業・ガバメントクラウドファンディング型ふるさと宍粟寄付金交付事業・ふるさと住民登録制度【新規】
・千種地域保育園留学事業【新規】

具体的施策(1)木育を通じた森林文化の継承

園児木育イベントの開催回数
(現状値：2回 目標値：現状値を維持)

木育新聞発行回数
(現状値：4回 目標値：現状値を維持)

園児木育講座参加園数
(現状値：11園数 目標値：14園)

宍粟市産木材の学習機の整備率
(現状値：56.1% 目標値：100%)

誕生祝い品贈呈事業
(出生に伴う贈呈のため、目標値設定無)

■主な事業
・森林大学校での園児木育イベントの開催・木育新聞（みどりじまん新聞）の発行・園児木育講座の実施
・宍粟材を活用した児童生徒用学習機整備事業・誕生祝い品贈呈事業

具体的施策(2)「発酵のふるさと宍粟」を軸とした地域ブランドの発信

アンケート回答者数
(現状値：239人 目標値：478人)

参加小学校数
(現状値：10校 目標値：現状値を維持)

発酵食レシピ応募数
(現状値：－ 目標値：34件)

発酵教室年間開催回数
(現状値：5回 目標値：現状値を維持)

■主な事業
・しそ発酵フェアの開催・市内小学校味噌づくりサポート事業・発酵食レシピ募集事業（小中学生向け）・発酵教室の開催

基本的な方向1
移住・定住の促進

住宅取得支援を利用した移住者数
(現状値：51人 目標値：現状値を維持)

人口減少のなかにおいても、継続した移住者数の維持を目標とする。

基本的な方向2
地域資源の魅力と価値向上によるつながりの拡大

観光入込客数
(現状値：880千人 目標値：1,110千人)

1年につき概ね40千人程度の増加を目標とする。

基本的な方向3
地域ブランドの形成と誇りあるふるさとづくり

「将来的に宍粟市に住みたい」と思う中高生の割合
(現状値：57.7% 目標値：75%)

4人中、3人が将来的に宍粟市に住みたいと思うことを目標とする。

重点目標3

選ばれる
～若者や女性に選ばれ、世代を超えて誇れるふるさとをつくる～

転出超過数
現状値：316人 目標値：166人

人口ビジョンにおいて、2030年の目標値が185人であり、2035年の目標値は90人。1年あたり19人抑制の必要があるため、2031年時点では185-19=166人を設定する。